対象国の条件:

研修コース番号:201984519-J002

案件番号:201984519

主分野課題:ガバナンス/公共安全

副分野課題:

使用言語:英語

案件概要

日本は、世界的に乱用が拡大している覚醒剤について半世紀以上にわたる取締りの経験・知見を有し、薬物犯罪に対して最新の分析・鑑定技術を活用した捜査を推進している。本研修では覚醒剤をはじめとする世界の薬物情勢と、取締りに関する日本や参加国の知見・経験を共有するとともに、研修を通じ、国境を越えて敢行される薬物犯罪に対処するために必要な人的ネットワークの構築を行う。

目標/成果

対象組織/人材

【案件目標】

日本や世界各国の薬物犯罪情勢、薬物犯罪に対する効果的な捜査・取締りに関する知見や経験を共有し、薬物犯罪捜査における国際協力の基盤となる人的ネットワークの構築を推進すること。

【成果】

1. 日本や参加国の薬物犯罪情勢や取締状況に関する情報等を共有する。
2. 適正かつ科学的な薬物犯罪捜査に関する日本の取組みについて理解する。
3. 薬物犯罪取締分野における効果的な国際協力について、参加者間で共通認識を得る。

【対象組織】

中央政府の薬物犯罪取締機関

【対象人材】

1. 中央政府の薬物犯罪取締機関の課長又はこれに相当する上級幹部。
2. 薬物犯罪取締の捜査指揮に関する経験を有する者。

内 容

1. 日本における薬物犯罪対策についての講義。
2. 都道府県警察や科学警察研究所をはじめとする薬物取締関係施設の視察。
3. 参加国の薬物情勢、取締状況、課題や今後の取り組み等についての発表。
4. 薬物犯罪取締分野における効果的な国際協力に関する参加者間での討議。

本邦研修期間

2019/8～2019/9

担当課題部

産業開発・公共政策部

所管国内機関

JICA東京（産業公共）

関係省庁

警察庁

実施年度

2017～2019

主要協力機関

警察庁

**特記事項
及び
ホームページ**

<警察庁HP>
<http://www.npa.go.jp/>